

1. 評価報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	2470201415
法人名	株式会社 四季の郷
事業所名	グループホーム 四季の郷富田
所在地 (電話番号)	四日市市東茂福町4番4号 (電話) 059-361-7537
評価機関名	三重県社会福祉協議会
所在地	津市桜橋2丁目131
訪問調査日	平成 20 年 6 月 25 日(水)

【情報提供票より】 (H20年5月15日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 15 年 2 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	15 人	常勤 4人, 非常勤 11人, 常勤換算	12.4人

(2)建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	52,000 円	その他の経費(月額)	25,000 円~	
敷金	有(円) <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>			
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input checked="" type="radio"/> 有(250,000 円)	有りの場合 償却の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 / 無 4年	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,500円			

(4)利用者の概要(5 月 15 日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名	
要介護1	4 名	要介護2	2 名			
要介護3	2 名	要介護4	名			
要介護5	名		要支援2	1 名		
年齢	平均	83.3 歳	最低	65 歳	最高	97 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	斉藤クリニック 富田浜病院 さいとう歯科 浜田整形外科 飯田医院 小林内科胃腸科
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

代表の『高齢者に温かい家庭的な環境の下で生き甲斐を持って暮らし続けてもらいたい』との思いから、グループホームを発祥に高齢者の井戸端会議の場を提供しようとデイサービスを開設、地域との交流が深まると入居したいとのニーズが高まり有料老人ホームも併設する事となり大世帯の事業体となっている。その其々の事業(サービス)の良さを相乗効果的に利用した高齢者に優しい、質の高い介護が提供されている。特に経験豊かな施設長(看護師・ケアマネジャー)と開設時から利用者を見守ってきた管理者の専門性と蓄積された経験に根付いた運営は、職員や利用者・家族への安心と信頼感につながっている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営推進会議の定期的開催への期待に対し、出席者確保で苦慮していたが、今期から2ヶ月に1回定期的に有意義な会議が開催され、社会貢献やサービス向上に資している。多機能性を活かした支援の認知症対応型デイサービスは、指定を受け利用者募集中である。また、医療連携体制も構築されており、きめ細かい外出支援も行われている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>デイサービス・有料老人ホームが併設されており、職員は他の利用者との関わりも深く母体法人独自の自己評価を実施している。その為今回の自己評価への取り組みが薄い。今一度、今回の自己評価の意義や特質項目の認識を深められることを期待したい。</p>
	②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>今期から定期的(2ヶ月毎)に開催され、現状報告やその都度テーマ(外部評価報告・利用者の要望・地域密着型サービス等々)を決めて活発な意見交換が行われている。出された意見は事業所の地域貢献や利用者へのサービス向上に資されている。</p>
重点項目	③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の意見等は電話連絡時や来訪時に声掛をし、抽出を図っており、要望・苦情には速やかに善処が成されている。また、利用者の状況は随時、電話や文書・「いすず会たより」で報告され、安心してもらっている。</p>
重点項目	④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に加入し、市民センター行事(祭り・文化祭)に参加したり、事業所ホールをギャラリーとして地域に開放し各種作品展を開催する等、近隣住民と利用者との集いの場として交流を図っている。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域への貢献と人権尊重を理念に地域に密着した家庭的な介護を目指した四季の郷憲章が作りあげられている。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を基につくりあげた職員訓示(言葉三訓・介護三要・接客五訓)を意識した介護が日々実践されている。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、地区市民センター行事(祭り・文化祭)に参加したり、事業所ホールをギャラリーとして地域に開放し各種作品展を開催する等、近隣住民と利用者との集いの場として交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価結果は事業所全員で共有し、改善に向けた取り組みが実行されている。自己評価の意義や必要性は事業所内に浸透しているが、職員は法人独自の自己評価を実施しており、今回の自己評価との整合性への具体的な理解が薄くなっている。	○	デイサービス・有料老人ホームが併設されており、職員は他の利用者との係わりも深く、法人独自の自己評価項目を作り実施しているが、今回の自己評価の意義や特質項目への認識を今一度深められる事が期待される。
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年4月第一回開催以来、メンバーの都合等で開催時期に苦慮してきたが、今期からは出席者にこだわらず2ヶ月に一回の開催を実行している。会議では現状報告や意見交換が活発に有意義に交わされ、事業所の地域貢献や利用者サービスの向上に資されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	毎月発行の「いすず会たより」を市担当者や地域包括支援センターに届け、現状報告や意見交換を行っている。また、市の介護相談員の訪問を月1回受け、利用者の要望・不満の抽出に当たってもらいアドバイスを受けている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	体力測定結果や日ごとの暮らしぶり・金銭管理(立替方式)は、月1回の書面での報告と「いすず会たより」発送で行っている。健康状態は通院を含めその都度家族に報告し意向に副った支援を行っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族への電話連絡時や来訪時に声掛けをし意見の抽出を図っており、要望・苦情には速やかな善処がなされている。重要事項説明書に事業所内の相談窓口が明記されており、事業所入り口に「ご意見箱」も設置されている。	○	事業所外の相談窓口(市・国保連等)が「ご意見箱」の側面に記されているが、もう少し分かり易い所への表示と重要事項説明書への明記が望まれる。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職等の移動はほとんど無く、事業の拡大による職員採用が増えている。併設事業の職員もローテーションで介護に関わる事も多く顔馴染みの関係が築かれており、安定した職員体制が築かれている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修は新人研修・職員研修ともに計画的に実施されており、外部研修も案内を職員に周知し必要に応じた受講を勧めている。未研修職員には受講者からの伝達や資料の回覧等で知識の共有を図っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市や社協の事業者懇談会での交流や近隣市町村の同業者からの職員実習依頼や相談も受けており、共に連携を取りサービスの向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	併設デイサービスの利用や体験入居をしてもらい、本人・家族が安心して納得のいく利用に移行できる様に心掛けられている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は共に生活する中で利用者の昔ながらの知恵や知識を学び、精神的な心の持ち方をも教えられる事が多く「共に支え合う関係」を実感する日々を送っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は選択肢の多い会話を心がけ、気づきノートを活用して一人ひとりの些細な思いや意向をも大切に介護に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	一人ひとりのアセスメントをもとに家族を含めた担当者会議を開き課題を検討して介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	三ヶ月に一回、ケアプラン評価表で評価を行い、担当者会議で残された課題や現状を検討し介護計画の見直しを行っている。また、様態の変化が生じた場合はその都度適切な介護計画の見直しが成されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院や理美容院等への外出支援や医療連携体制の構築・認知症対応型通所介護など利用者や地域住民への多機能な支援が展開されている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近隣6ヶ所の医療機関と協力医契約をし、本人・家族の選択でかかりつけ医を決めてもらい受診や往診を担ってもらっている。家族同行通院が基本だが要望に副って通院支援も行われており、看護師が各かかりつけ医と絶えず連携し適切な健康管理を行っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	事業所でターミナルを迎えた利用者もおり、出来る限り利用者や家族の要望に副った介護が続けられるよう、重度化した場合の対応指針も作成されている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	理念や職員心得に人権尊重や言葉の重みが説かれており、折に触れプライバシーへの意識の徹底がはかられている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の一日の生活パターンは決まってきたが、自由な暮らしを尊重した各自のペースに寄り添った支援が行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事はデイサービス・有料老人ホームの利用者や職員と一緒に賑やかに食している。定期的に選択メニューを実施したりテラスでのバーベキューやおやつ作り、外食と趣を変えた食事でも楽しめる工夫をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	平常は併設デイサービス棟の広いお風呂を利用しての隔日入浴(午前)となっているが、外出等で入浴出来なかった時や希望に応じたグループホームでの入浴も実施している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者の得意分野や出来る事をよく把握しており、それを日々の生活やクラブ活動(茶道・書道・園芸・麻雀)の中で楽しく発揮してもらうよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣への散歩は日課になっており、季節を感じる遠出や買い物等、外出も頻繁に行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	事業所内は広く併設棟への出入りは自由に行われているが、玄関(自動ドア)はデイサービス・有料老人ホームと共用で安全の為内部からは自由に出入り出来ないようになっている。	○	利用者の外出行動には職員がきめ細かく付き添ってケアしており弊害があるとは感じていない様子だが、自分の意思では自由に外に出られない閉塞感を認識し、日中鍵をかけないケアについて今一度職員間で話し合われる事を期待する。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署と連携を取り、年4回の防災避難訓練を実施しており、地域への協力依頼も行っている。 災害時備蓄も成されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は職員が考え、管理栄養士にチェックを受けて栄養バランスの良い食事が提供されている。食事療法の要る利用者も無く、一人ひとりの摂取量は毎回記録され水分確保にも努められている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	事業所内は高齢者の生活に配慮が行き届いた設計・設備が施され、デイサービスゾーンや広いウッドデッキに自由に出入りできる様になっている。随所に椅子やソファ、マッサージ機が置かれ、季節を感じる装飾や入居者の似顔絵等が掲げられ居心地の良い共用空間が確保されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各自室には、馴染みの家具(箆笥・ソファ・テレビ等)が持ち込まれ、好みの居室づくりが成されている。		